

第1学年 社会科学習指導案

日時 平成19年11月28日(水)

学級 1年1組 34名(男子15名 女子19名)

授業者 佐藤 義一

場所 大船渡市立第一中学校 1年1組教室

1 単元名 「身近な地域の調査」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、地理的分野の目標(4)「地域調査などの具体的な活動を通して、地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を育てる」ことをうけ、「身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めさせるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる」ことを目標としている。

大船渡市や陸前高田市の地形図を活用して、等高線や地図記号から地形や土地利用などを読み取らせ、比較することで、地図を効果的に活用する能力を高めるとともに、身近な地域への理解を深めさせることができると考える。

(2) 生徒観

全体的に意欲的に取り組む生徒が多いが、学力に関しては個人差がやや見受けられる。社会科学については、8割の生徒が「好き」あるいは「どちらかといえば好き」と答えているものの地理分野よりも歴史分野のほうに興味関心が高い傾向がある。

身近な地域に対しての理解や関心の状況は、小学校である程度の学習はしてきているものの、地理的な特色をとらえたり、他地域との違いに気づいたりするまでには至っていない。

資料の活用に関しては、地図や資料集を用いながら授業を進めている。ほとんどの生徒が資料を読み取ることができるものの、作業の速さには個人差がある。一人で考察したりまとめたりするのを苦手としている生徒もあり、表現する力は高いとは言えない。

(3) 指導観

小学校で学習している地図記号や等高線についての定着を確認しながら、落ちている部分を補足しつつ学習を進めていきたい。また、「縮尺の意味」、「距離の求め方」など新しく学習する内容についても具体的な資料の活用や演習を通して身につけさせていきたい。

生徒が生活する大船渡市や隣接する陸前高田市の地形図を活用することで生徒の関心意欲を高めることが期待される。等高線を読み取る作業や地図記号から土地の利用を確認し、色を塗るなどの作業から違いを視覚的に区別させたい。地理的特徴をあらわす写真を提示することでまとめに繋げていきたい。

また、グループ学習で作業や話し合いをさせることで、学び合いについても高めることができると考える。これらの一連の学習を通し、地図を活用する力を高めるとともに、地図を「読む」楽しさについても気づかせていきたい。そして、地図の活用を通し、身近な地域の地理的特色をとらえさせたり、他地域を含む地理的事象への関心も高めさせたりしていきたい。

3 単元計画(9時間扱い)

(1) 指導目標

指導目標	(1) 縮尺の大きな地図を活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域に関するさまざまな事象に気づかせるとともに、地図から得られた情報をもとに歴史的な背景や産業、他地域との関係などに関心を持たせる。 (2) 身近な地域に関する情報を収集し、それらの情報をもとに調査テーマを設定するための活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な課題を設定できるようにさせる。
------	--

指導目標	<p>(3) 調査テーマの学習を通して、身近な地域の地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法を理解させるとともに、地域的特色をとらえるための方法として収集した情報を地図化・グラフ化することができるようにさせる。</p> <p>(4) 身近な地域の特色を学習し考察した過程やその結果が理解できるように、地図や統計資料を活用した地理的なまとめ方や表現の方法などを理解させ、その知識を身につけさせる。</p> <p>(5) 身近な地域の特色を、地域の自然環境や他地域との結びつき、人間の営みとのかかわりに着目してとらえさせるとともに、地域のこれからの発展について関心を持たせる。</p>
------	--

(2) 評価規準

関心意欲態度	<p>地図などから得られる情報から、歴史的な背景、産業、他地域との関係など、身近な地域への関心が高まっている。</p> <p>観察・調査からさまざまな情報を得ようとする意欲が高まっている。</p> <p>身近な地域の変化に関心を持ち、地域の発展について考えようとしている。</p>
思考判断	<p>身近な地域の諸事象を、位置や空間的な広がりとかかわりからとらえて、地理的事象を見いだしている。</p> <p>地理的事象をもとにして、適切な課題を設定している。</p> <p>設定した課題を、地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとかかわりから、多面的・多角的に考察している。</p> <p>地域的特色をとらえる課題を学習するための視点や方法を考察し、適切に選択している。</p>
技能表現	<p>縮尺の違う地図から引き出せる情報を、適切に利用している。</p> <p>地図や統計、写真から地域の変化を読み取る技術を習得している。</p> <p>実地調査の結果を地図やスケッチで表現している。</p> <p>土地利用図、分布図、棒グラフ、円グラフ、統計などを活用・作成する技能を身につけている。</p> <p>調査の動機と目的、調査過程と内容、文責と調査結果が明確に分かるように、まとめることができる。</p>
知識理解	<p>縮尺、方位、等高線、地図記号などの地図の約束について、その知識を身につけている。</p> <p>読図、文献調査、聞き取り、観察などの調査方法を実際に体験して、地域調査の基本的方法を習得している。</p> <p>身近な地域における地形、気候、産業、交通、集落などについて、基本的知識を習得している。</p>

(3) 単位時間の主な活動内容と評価規準

次	時	主な学習内容	評価規準				指導目標
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
地形図の読み取り方	1	地図記号について調べよう。	身近な地域について調べるために地図を活用しようとする。			地図記号の意味について理解することができる。	(1)
	2	等高線から分かることは何だろう。			等高線から様々な地形の特徴を読み取ることができる。	等高線の意味について理解することができる。	(1)
	3	縮尺の意味とそれを使って長さを求めよう。			縮尺の意味とそれを使って長さを求めることができる。	縮尺の意味について理解することができる。	(1)

次	時	主な学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	指導目標
身近な地域の特色	4	大船渡市の地形図を読み取ってみよう。	身近な地域の特徴についての関心が高まっている。	縮尺の大きな地図や写真から、身近な地域に関するさまざまな事象に気づくことができる。	縮尺の大きな地図や写真を活用し、土地利用、地形などを読み取ることができる。		(2) (4)
	5 本時	陸前高田市の地形図を読み取り、大船渡市と比較してみよう。	地域の特徴についての違いを見つけようと意欲的に取り組んでいる。	土地の利用等をもとに、違いについて気づくことができる。	地形図を適切に読み取ることができる。	陸前高田市と比較して、大船渡市の地理的な特色が分かる。	(5)
	6	大船渡市と陸前高田市の違いを数的にとらえ、グラフなどに表してみよう。	調査結果を地図化・図表化してみようとしている。		観察や統計などから得た情報を地域的特徴をとらえるための学習に役立つ資料として、地図化したりグラフ化したりして調査結果をまとめることができる。		(3)
他地域の調査	7 ・ 8	他地域の様子を調べよう。	様々な方法で、地域調査に意欲的に取り組んでいる。		地形図を適切に読み取ることができる。		(4) (5)
	9	発表会をしよう。	他の班の発表からも学ぼうとしている。		地域的特色を学習し考察した過程やその結果を分かりやすくまとめることができる。	地域的特色を、様々な視点から習得することができる。	(4) (5)

4 本時の指導

(1) 本時の目標

縮尺、方位、等高線、地図記号などの地図の約束について理解し、適切に地形図を読み取ることができる。

大船渡市と陸前高田市とを比較することで、大船渡市の地理的特徴を読み取ることができる。

(2) 本時の指導構想

本時は、前時までの学習を生かし、地形図の読み取りのまとめとして取り組ませたいと考えている。導入では、大船渡市と陸前高田市の観光ポスターなどを用いて両市の違いについて、調べようとする意欲をもたせたい。そして、展開では、これまでの学習をもとに、地形図の読み取りを中心に学習を進める。等高線や地図記号に色づけさせる作業やグループ学習を行うことで、気づいたことを発表し合う活動を通して地形の違いや土地利用の違いに気づかせていきたい。また、特徴的な写真を提示することで隣接する市どうしであっても地形の違いから、土地の利用や産業等が異なることを理解させ、まとめに繋げていきたい。

(3) 本時におけるの具体の評価規準

A ; 十分満足できる	B ; おおむね満足できる	C ; 努力を要する生徒への手だて
地形図のよさを分かりながら、陸前高田市の地理的特徴を読み取り、大船渡市の地理的特徴についてとらえることができる。	陸前高田市の地理的特徴を読み取り、大船渡市の地理的特徴についてとらえることができる。	グループ学習の話し合いから、大船渡市の地理的特徴について気づくことができる。

(4) 本時の展開

	主な学活動と内容	指導上の留意点	主な資料
課題把握	1 前時の学習内容を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容について。 ・田が少ない。 ・海辺近くに工場がある。 ・山が迫っている。 ・平地が少ない。 ・リアス式海岸。等 2 陸前高田市のポスターから本時の課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容について発表させることで想起させる。 ・前時の地形図をもとに端的に押さえる。 ・同じ海辺の市である陸前高田市のポスターを提示して、大船渡市との相違点が無いか問いながら学習課題の設定に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の地形図 ・写真 ・観光ポスター
(5)	陸前高田市の地形図を読み取り、大船渡市と比較してみよう。		
課題追究	3 課題に対する予想を書き発表する。 4 地形図から陸前高田市の地理的特徴を調査する。 <ul style="list-style-type: none"> 等高線をなぞる。 地図記号を見つける。 土地利用について調べる。 5 大船渡市と陸前高田市の地理的な比較をする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地形図から大船渡市と陸前高田市の特色の違いを考える。 (2) 調べて気づいたことを発表する。 (3) 写真資料で地形図で読み取ったことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・平地の広がり ・水田 ・果樹園 ・漁港 ・工場 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時と同様な作業をさせる。時間を提示し、見通しを持って作業をさせる。 ・グループ毎に一人一人に役割を持たせ活動させる ・机間巡視をしながら、活動状況を把握し、活動が滞っているところには助言を与える。 ・等高線や土地利用などをもとにしながら考えさせる。 ・生徒が地形図で読み取ったことを、視覚で確認させることで、両市の地理的特色を押さえさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の地形図 ・特徴的な写真
まとめ・発展	6 大船渡市の特色についてまとめる。 7 次時の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・感想もふくめ発表させる。 ・地形図のよさにふれながら、隣接する市であっても特徴が異なることをつかませたい。 	
(5)			